

容器包装廃棄物分別収集計画書 (平成20年度～平成24年度)



長崎県北松北部環境組合

(平戸市・松浦市)

目 次

1. 分別収集計画の目的
2. 本組合の地理的・地域的特性
3. 基本方針
 - (1) 基本的方向
 - (2) 役割分担
4. 計画期間
5. 対象とする容器包装廃棄物
6. 容器包装廃棄物排出の見込量（法第8条2項1号関係）
7. 容器包装廃棄物の排出抑制に関する方策（法第8条2項2号関係）
8. 容器包装廃棄物の種類及び分別の区分（法第8条2項3号関係）
9. 分別基準適合物並びに特定分別基準適合物の見込量（法第8条2項4号関係）
分別基準適合物 平戸市・松浦市
10. 分別収集を実施する者に関する基本的事項（法第8条2項5号関係）
11. その他分別収集の実施に関する必要な事項（法第8条2項7号関係）

1. 分別収集計画の目的

近年、経済発展に伴う生活様式の多様化や消費者意識の変化などによって、廃棄物の排出量がますます増加し、その質も多様化してきている。

また、主要な資源の大部分を輸入に依存している我が国にとっては、これらの廃棄物から得られる物を資源として有効に利用していくことが強く求められている。

その一方で、地方財政を取り巻く環境が厳しさを増す中、地域住民の環境への意識の高まりや一般廃棄物の広域化処理の必要性などから、本組合も各組織団体の協力を得て新施設を建設し、平成16年度から本格的な処理が開始されたところである。加えて、管内の最終処分場も次第に手狭になりつつあり、分別収集の徹底とともにその減容化は重要な課題となっている。

このような状況のもと、快適でうるおいのある生活環境の創造のためには、極力地球環境に対する負荷を少なくし、これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄などに支えられた社会経済・ライフスタイルを見直し、循環型社会の形成、いわゆる「ごみゼロ社会」を構築していくことが大切である。またそのためには、社会を構成する主体がそれぞれの立場でその役割を認識し、履行していくことが最も重要である。

北松北部環境組合の組織団体〔平戸市(大島村を除く)・松浦市(鷹島町を除く)〕においても、生活様式等の都市化現象などにより、ごみの発生量は増大し、その処理が困難性を深めつつあることは例外ではない。ごみ問題を解決する基本は「発生を抑制すること」であり、一方、「排出されたごみ」については分別収集し「ごみゼロ社会」を構築していくことにつながる。

そのためには、すべての住民、事業者、行政が一体となって、それぞれの立場でその役割を認識し、これを実行していくことが肝要である。

本計画は、このような現状把握のもと、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（平成7年法律第112号。以下「法」という。）第8条の規定に基づき策定するもので、一般廃棄物の中で相当量を占めている容器包装廃棄物を分別収集することにより、住民・事業者・行政それぞれの役割を明確化し、具体的な推進方策を示したもので、廃棄物の中で再生できる資源の有効利用及び最終処分する廃棄物の軽減化を図り、もって、住民の快適な生活環境の創造と地域経済の安定に寄与することを目的とする。

2. 本組合の地理的・地域的特性

本組合は、平戸市（大島村を除く）・松浦市（鷹島町を除く）で構成し、管内人口は約62,000人である。場所は、長崎県の最北部、九州本土の最西端に位置し、北は玄界灘に面し、西は東シナ海をのぞむ東西50kmに及ぶ広範囲な地域である。平戸市は東部に田平地区、西は平戸島と生月島、松浦市は松浦地区と福島島があり、地形はいたるところに山岳丘陵が起伏し、海岸線は各所に半島、岬が突出し、自然美を醸し出している。昭和30年に西海国立公園の指定を受け島と岬が交錯しておりなす景観は、断崖美とともに県北地域の観光名所となっている。

気候は、周囲を海に面していることから、海洋性の温暖な気候で、通年の平均気温は15℃から16℃程度、年間平均降水量は2,000mm台で、6月から8月にかけて多く降る傾向にある。

3. 基本方針

（1）基本的方向

本計画を実施するにあたっては、次のことを基本とする。

- ① 管内の地域特性を考慮し、施設の能力に応じて確実に資源化される容器包装廃棄物を対象に積極的に分別収集する。
- ② 住民、事業者、行政の役割分担を明確化し、それぞれの役割にそって確実に実行できる分別収集システムを構築する。
- ③ 再生資源の経済効果を高めるため、回収廃棄物の完全資源化に努める。
- ④ 循環型社会の構築に向けて、発生の抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）の推進を図り、廃棄物に対する共通認識の元で意識の浸透を図る。

（2）役割分担

本計画の基本的な役割分担は、次のとおりとする。

- ☆ 住民・・・分別区分を徹底し、分別排出ルールを厳守すること。
- ☆ 事業者・・・分別収集（回収）に協力すること。
- ☆ 行政・・・① 分別収集計画を策定し、計画の周知・徹底を図ること。
② 収集・運搬して、選別・保管すること。

4. 計画期間

本計画の計画期間は、平成20年4月を始期とする5年間とし、3年ごとに改定するものとする。

5. 対象とする容器包装廃棄物

本計画では、容器包装廃棄物のうち、次の9品目を対象として、分別収集する。なお、残るその他紙製容器包装についても、以後検討し分別収集の対象品目に追加する。

- ① スチール製容器 スチール缶
- ② アルミ製容器 アルミ缶
- ③ ガラス製容器包装 無色ビン
- ④ 同 茶色ビン
- ⑤ 同 その他のビン
- ⑥ ペットボトル
- ⑦ 紙製（飲料水）容器包装 紙パック
- ⑧ その他プラスチック製容器包装 トレイ
- ⑨ 段ボール製の容器包装 段ボール

6. 容器包装廃棄物排出の見込量（法第8条第2項第1号）

法第8条2項第1号の規定に基づく、各年度における容器包装廃棄物の排出量を、次のとおり推計する。

1 容器包装廃棄物年度別地区別排出見込み量（全体量）〔単位：トン／年〕

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
平戸市	477	475	472	469	465
松浦市	514	512	510	506	504
合計	991	987	982	975	969

2 容器包装廃棄物年度別品目別排出の見込み量

[単位:トン/年]

項 目	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
主としてスチール製の容器	126	125	124	122	121
主としてアルミ製の容器	85	85	84	83	83
無色のガラス製の容器	113	111	111	109	109
茶色のガラス製の容器	118	116	115	114	114
その他のガラス製の容器	243	242	241	239	234
主として紙製の容器で飲料を充てんするためのもの（原材料としてアルミニウムが利用されているものを除く。）	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7
主として段ボール製の容器	204	204	203	202	202
主としてポリエチレンテレフタレート（PET）製の容器であって飲料又はしょうゆを充てんするためのもの	99	101	101	103	103
主としてプラスチック製の容器包装	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
（うち白色トレイ）	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
合 計	991	987	982	975	969

7. 容器包装廃棄物の排出の抑制のための方策に関する事項（法第8条第2項第2号）

ごみの減量化並びに容器包装廃棄物の排出抑制を図るため、次の事項について、住民・事業者・行政がそれぞれの立場で積極的な取組みを進めるものとする。

（1）排出の抑制リサイクルの推進

- ① 住民は商品購入の際には、つとめて買い物袋等を持参し、又は簡易包装化された商品等を購入するなど、容器包装の排出抑制に努める。
- ② 事業者は、商品の包装にあたっては、簡易包装やリサイクル可能な容器など、容器包装の役割を損なわない範囲で、最も効率的な容器包装に努める。
- ③ 事業者理解と協力を求め、リターナブル容器・詰め替え商品・再生資源を原材料として使用した製品等の販売や製造を優先的に行うと共に再利用できるもの、資源となるものの引取りを積極的に推進する。
- ④ 市民が商品を購入する際、廃棄後の処理を考慮に入れて再利用、リサイクルできる商品を選択する等の「グリーンコンシューマー」意識の確立を図る。
- ⑤ 集団回収に出すことができる資源ごみについては、積極的推進の立場から、各団体の育成・支援に努め、集団回収の促進と協力を求める。

(2) 教育・啓発活動等の推進

- ① 行政は、ごみ問題・環境問題について、各種の情報提供を行い、処理施設見学や排出抑制に関する環境教育・施設見学その他の啓発活動などによって、ものを大切にすること、リサイクルを推進することの重要性など認識を高め、もって分別収集に協力しやすい環境づくりに努める。
- ② 住民・事業者・行政が一体となって排出抑制を推進するため、ごみ減量化・リサイクル活動の体制づくりを進める。
- ③ 小・中学生にごみ処理の方法、分別の仕方、資源の重要性等を学んでもらうため、施設見学等を通して引き続き啓発していく。また大人向けには、地域での各種学習会等、あるいは出前講座などを通じて、環境問題への関心呼びかけ、地域ぐるみの啓発運動への誘導を図る。

※施設説明用パンフレットや運営にかかる資料作成は組合で実施するが、各自治体における事例紹介や啓発運動は、ともに連携のうえに各自治体において実施する。

8. 分別収集をするものとした容器包装廃棄物の種類及び当該容器包装廃棄物の収集に係る分別の区分 (法第8条第2項第3号)

分別収集をする容器包装廃棄物の種類及び収集に係る分別の区分は、次のとおりとする。

分別収集をする容器包装廃棄物の種類		収集・分別の区分
主としてスチール製の容器		飲料用缶
主としてアルミニウム製の容器		
主として	無色のガラス製容器	ガラスびん
	茶色のガラス製容器	
	その他のガラス製容器	
主として紙製の容器包装であって飲料を充てんするためのもの(原材料としてアルミニウムが利用されているものを除く。)		紙パック
主として段ボール製の容器		段ボール
主としてポリエチレンテレフタレート(PET)製の容器であって飲料、しょうゆ等を充てんするためのもの		ペットボトル
主としてプラスチック製の容器包装		トレイ
(うち白色トレイ)		

9. 分別収集適合物並びに特定分別基準適合物の量の見込み

各年度において、容器包装廃棄物を分別収集して得られた物のうち、法第2条第6項の規定による分別基準適合物並びに法2条第7項の規定による特定分別基準適合物の量は、次のとおり推計する。

(1) 分別基準適合物〔法第2条第6項関係〕 (単位：トン／年)

項 目	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
主としてスチール製の容器	108	106	106	104	104
主としてアルミ製の容器	73	73	72	71	71
無色のガラス製の容器	97 (0)	95 (0)	95 (0)	93 (0)	93 (0)
茶色のガラス製の容器	101 (0)	100 (0)	99 (0)	98 (0)	98 (0)
その他のガラス製容器	210 (0)	208 (0)	207 (0)	205 (0)	202 (0)
主として紙製の容器で飲料を充てんするためのもの(原材料としてアルミニウムが利用されているものを除く。)	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
主として段ボール製の容器	171	171	171	171	171
主としてポリエチレンテレフタレート(PET)製の容器であって飲料又はしょうゆを充てんするためのもの	85 (0)	87 (0)	87 (0)	89 (0)	89 (0)
主としてプラスチック製の容器包装	0.3 (0)	0.3 (0)	0.3 (0)	0.3 (0)	0.3 (0)
(うち白色トレイ)	0.3 (0)	0.3 (0)	0.3 (0)	0.3 (0)	0.3 (0)
合 計	847 (0)	842 (0)	839 (0)	833 (0)	830 (0)

注：括弧内の量は、指定法人による引き取りではなく、市が独自に処理を行う予定量を示す。

以下、市ごとに表示する。

〔平戸市（大島村を除く）〕

（１）分別基準適合物〔法第２条第６項関係〕（単位：トン／年）

項 目	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
主としてスチール製の容器	63	62	62	61	61
主としてアルミ製の容器	43	43	42	42	42
無色のガラス製の容器	57 (0)	56 (0)	56 (0)	55 (0)	55 (0)
茶色のガラス製の容器	60 (0)	59 (0)	59 (0)	58 (0)	58 (0)
その他のガラス製容器	123 (0)	122 (0)	121 (0)	120 (0)	118 (0)
主として紙製の容器で飲料を充てんするため のもの（原材料としてアルミニウムが利用され ているものを除く。）	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
主として段ボール製の容器	21	21	21	21	21
主としてポリエチレンテレフタレート（PET）製の容 器であって飲料又はしょうゆを充てんす るためのもの	50 (0)	51 (0)	51 (0)	52 (0)	52 (0)
主としてプラスチック製の容器包装	0.2 (0)	0.2 (0)	0.2 (0)	0.2 (0)	0.2 (0)
（うち白色トレイ）	0.2 (0)	0.2 (0)	0.2 (0)	0.2 (0)	0.2 (0)
合 計	418.4 (0)	415.4 (0)	413.4 (0)	410.4 (0)	408.4 (0)

注：括弧内の量は、指定法人による引き取りではなく、市が独自に処理を行
う予定量を示す。

〔松浦市（鷹島町を除く）〕

（１）分別基準適合物〔法第２条第６項関係〕

（単位：トン／年）

項 目	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
主としてスチール製の容器	45	44	44	43	43
主としてアルミ製の容器	30	30	30	29	29
無色のガラス製の容器	40 (0)	39 (0)	39 (0)	38 (0)	38 (0)
茶色のガラス製の容器	41 (0)	41 (0)	40 (0)	40 (0)	40 (0)
その他のガラス製容器	87 (0)	86 (0)	86 (0)	85 (0)	84 (0)
主として紙製の容器で飲料を充てんするためのもの（原材料としてアルミニウムが利用されているものを除く。）	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
主として段ボール製の容器	150	150	150	150	150
主としてポリエチレンテレフタレート（PET）製の容器であって飲料又はしょうゆを充てんするためのもの	35 (0)	36 (0)	36 (0)	37 (0)	37 (0)
主としてプラスチック製の容器包装	0.1 (0)	0.1 (0)	0.1 (0)	0.1 (0)	0.1 (0)
（うち白色トレイ）	0.1 (0)	0.1 (0)	0.1 (0)	0.1 (0)	0.1 (0)
合 計	428.6 (0)	426.6 (0)	425.6 (0)	422.6 (0)	421.6 (0)

注：括弧内の量は、指定法人による引き取りではなく、市が独自に処理を行う予定量を示す。

10. 分別収集を実施する者に関する基本的事項

本計画により、資源物として回収する容器包装廃棄物の分別・収集・運搬は、その実施方法については、次のとおりとする。

廃棄物の種類		分別の収集	収集・運搬	選別・保管
缶類	スチール缶	指定(色別)ごみ容器	各自治体において、委託業者による指定日回収	組合の施設において、選別・梱包し保管する。
	アルミ缶	同		
ビン類	無色ビン	同		
	茶色ビン	同		
	その他のビン	同		
ペットボトル		同		
紙パック		同		
段ボール、白色トレー		排出者が適度に梱包し、各自治体で拠点を決め、月2回程度回収する。		

11. その他容器包装廃棄物の分別収集の実施に関し重要な事項

- ① 容器包装廃棄物の分別収集を円滑にそして効果的に進めるためには、住民・事業者、関係機関・団体等が一体となって協力することが大切であり、それぞれの組織団体において、ごみの減量化やリサイクルについて意見交換をすることができる、推進協議会的な組織の設置あるいはそういった機関との懇談会を実施する。
- ② 北松北部環境組合においては、現行の「北松北部環境組合一般廃棄物適正処理検討委員会」をさらに発展的に組織化しながら開催し、住民や事業所などの意見・要望把握に反映に努める。
- ③ 古紙回収にも力を入れたく、段ボール等のほか古新聞・古雑誌などの古紙類の収集のため、集団回収実施団体の掘り起こしや、公共機関・小売店舗等に回収拠点の設置を進める。
- ④ 本計画で分別収集する以外の容器包装廃棄物で再生・資源化が可能なものについては、さらに、調査・検討を進める。